

練馬区民の皆様へ

はじめまして、危機管理監の笠原と申します。この度の講演会で練馬区とご縁ができたことを喜んでおります。

さて、ご承知のとおり、長岡市は、水害、地震と立て続けに大災害に見舞われ甚大な被害を受けましたが、ここにきて、ようやくインフラ整備が終わり本格的な復興に向けて歩み始めたところです。今日まで当市をあたたく支えていただいた皆様には、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

長岡市では、現在、災害の教訓を生かし「日本一災害に強い都市づくり」をめざし防災体制の強化に取り組んでおります。その一つが「地域防災力の強化」であり、災害時には、個人やコミュニティの力をどれだけ引き出せるか、そして、その仕組みを日ごろからいかに用意できるかということが、防災・減災の大きな鍵と考えております。

青葉台地区は、その実戦的な取り組みを行っている代表的な地区の一つであり、このような地区を増やしていくために、自主防災会の結成・活動支援や、防災や安全に関する専門的な知識・技能と意欲を持つ人材「中越市民防災安全士」の養成など様々な取り組みを行っているところです。

当市は大災害を経験した都市であります。ですから、今後も災害の教訓を生かした取り組みを実践し、発信してまいります。それが全国からいただいたご支援に対する恩返しであると考えております。昨年末、仮設住宅がゼロになり、全村避難した山古志住民もようやく帰村が実現しました。長岡市のスローガン「前より前へ」を合言葉に、創造的復興をめざしこれからも力強く前進したいと思います。皆様には、変わらぬご支援ご声援をお願いいたしますとともに、練馬区の益々のご発展を祈念申し上げます。

平成 20 年 2 月 7 日

長岡市危機管理防災本部
危機管理監 笠原芳彦